



イラク復興支援群活動報告

17. 12. 11

イラク復興支援群

15日 7月頃の12月

57-7057

13-17日 10月外日等

17日 17日 17日

18日 17日

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

人員の状況
- 人員の状況

現地の治安状況
- 治安の状況
- 治安の状況

明日の活動予定

16日
12/11

(1枚の件) 12月11日
12月11日 15時に帰国
12月11日 15時に帰国

(20枚の件) 12月11日
12月11日 15時に帰国
12月11日 15時に帰国

全 般 (12月11日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具、異状なし
- 整備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連

◆ 医療

－外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

・ 学校の改修：

－10カ所(サマーワ×7、ワルカ、ヒラール、ヒドル)での役務作業

・ 道路の改修：

－3カ所(ルメイサ、スウェイル、ワルカ)での役務作業

・ PHCの改修：

－ラフマPHCの完成点検(マジット)

別紙「ラフマPHC完成点検」

－14カ所(サマーワ×5、ヒドル×2、マジット、ダラージ、ルメイサ×2、ワルカ×3)での役務作業

・ 給水関連施設の改修：

－3カ所(サマーワ、ワルカ、ルメイサ)での役務作業

・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：

－3カ所(サマーワ×3)での役務作業

・ 清掃事業関連施設の改修：

－1カ所(サマーワ)での役務作業

・ 燃料関連施設の改修：

－1カ所(サマーワ)での役務作業

全 般 (12月11日)

○ 宿営地関連施設の整備

- ・ 宿営地散水
- ・ ゴミ回収
- ・ 尿尿汲み取り
- ・ 環境維持作業
- ・ 出島地区再配置作業(キャラバン移設、電工作业、通信作業)
- ・ 警衛所耐弾化工事
- ・ 物流センター開設

○ 12月11日現在の雇用人員

計684名(累計:363,370名) 細部別表「雇用者」参照

○ その他(特記事項)

- ・ 業務支援隊長がハッサーニ県知事及びサージド県評議会議長と会談(サマーワ:県知事庁舎及び県評議会庁舎)
- ・ AMTG2との共同訓練(MEDEVAC訓練)を実施(宿営地内)
別紙「AMTG2との共同訓練(MEDEVAC訓練)」
- ・ 対外発信関連:12月号原稿調整(宿営地)
- ・ 供与RO浄水機による配水なし(RO付帯設備施工のため当分の間、配水休止)
12月11日まで計約50,359t(約11,168,663人分)配水(4.5リットル/人・日換算)

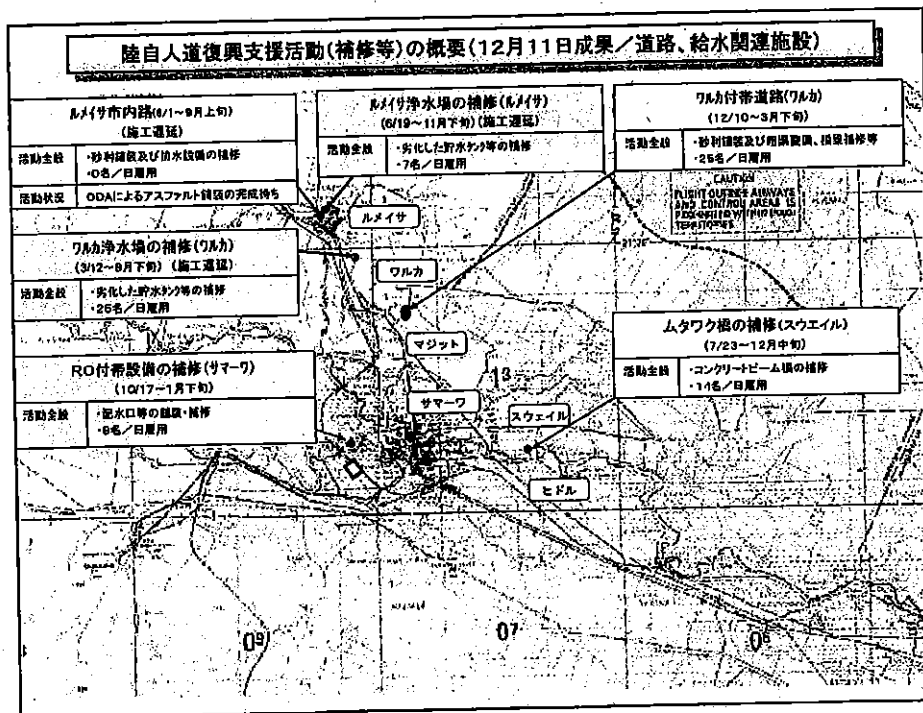
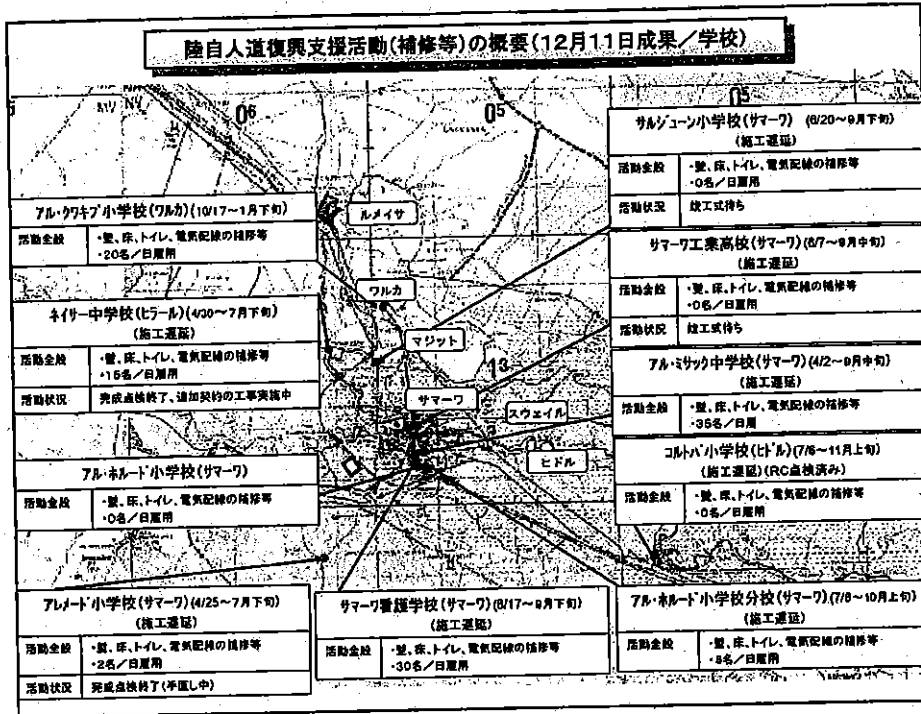
全 般 (12月11日)

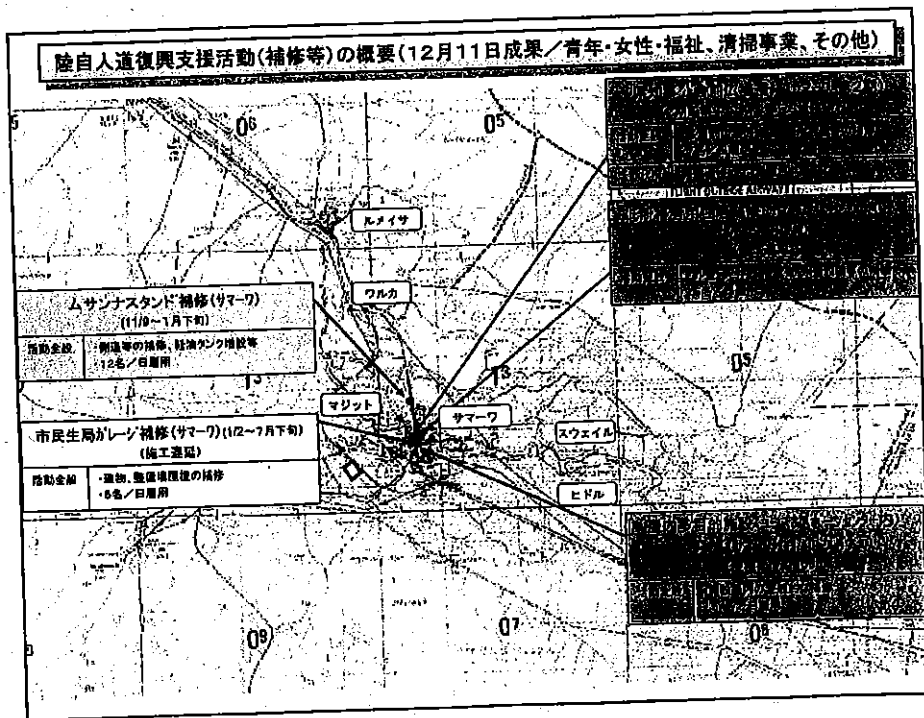
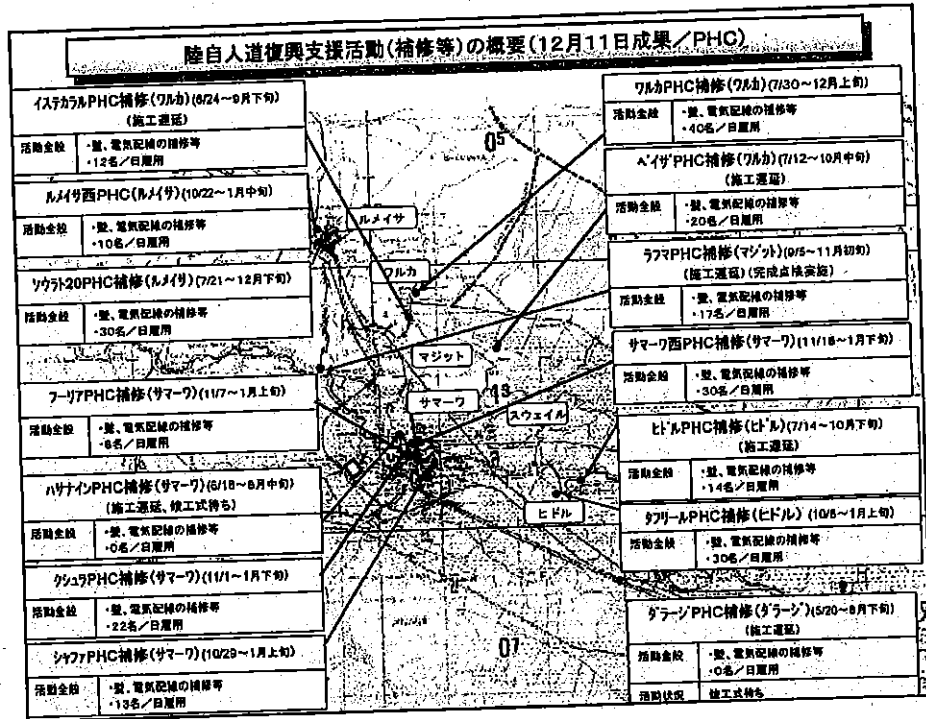
- ◎ クウェート分遣班
 - ・射撃予習
 - ・車両日整備
 - ・分遣班記念品調整
- ◎ バクダッドLO
 - ・情報収集及び情報資料の送付等
- ◎ バスラLO
 - ・情報要求対応及び定例情報収集
 - ・定例会議への参加
 - ・空路輸送調整
- ◎ スミッティLO
 - ・情報要求対応等
 - ・各種業務調整等
 - ・各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・連絡調整
 - ・情報収集

別表

雇用者 (12月11日)

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	246	504	684
	学校修復	107		
	道路補修	28		
	青年・スポーツ関連	66		
	清掃事業関連	5		
	給水関連	40		
	燃料	12		
宿営地内役務	通訳	61	180	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	26		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
	耐弾性強化施設補修	20		
コンテナメンテナンス	5			





上段: 増人員数 下段: 減人員数		人員現況																					
区分	増減人員	サマーワ		クウェート		パナマ		バスラ		カタール		ドバイ		海外		国内		備考 (備考) 増減人員の異動					
		増人員	減人員	増人員	減人員	増人員	減人員	増人員	減人員	増人員	減人員	増人員	減人員	増人員	減人員	増人員	減人員						
駐米大使館	481	481	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
駐米大使館 駐在員	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
駐米大使館 家族	109	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	600	565	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
本日のTV電話使用者数: 6名、FOMA使用者数: 32名(第8次群TV電話合計: 60名、FOMA合計: 1126名)

		車 両															計				
		小	中	救	軽	高	W	業	マイ	施	水	燃	冷	セ	大	特	浄	重	溶	修	
		型	型	急	甲	機	A	4	ク	設	タン	料	凍	ミ	型	大	水	シ	接	理	
10	サマーワ	13	10	2	48	19	6	1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	188	
	シャイバ																				
	バスラ					1															1
	タリル																				
	バクダット																				
	計	13	10	2	48	20	6	1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	189	
KW	キャンブ VA	1			4	1	1	2	1					8							18
	キャンブ アリジャン																				
	計	1			4	1	1	2	1					8							18
	総 計	14	10	2	52	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	207	

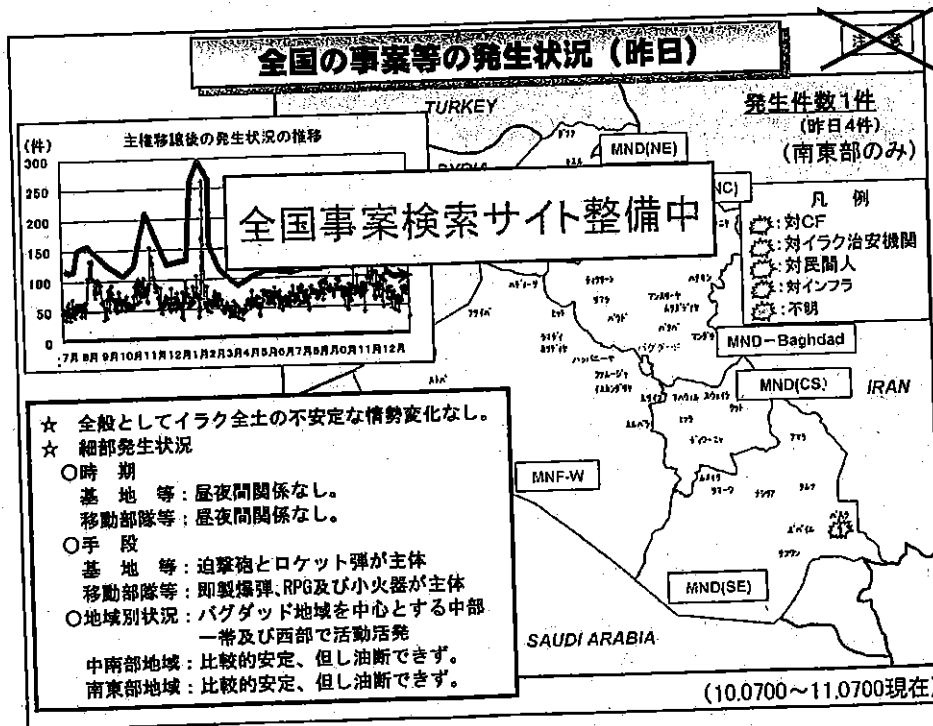
装備の現況 (武器)

		武器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマーワ							
	シャイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンブVA							
	キャンブアリフザン							
	計							
総計								

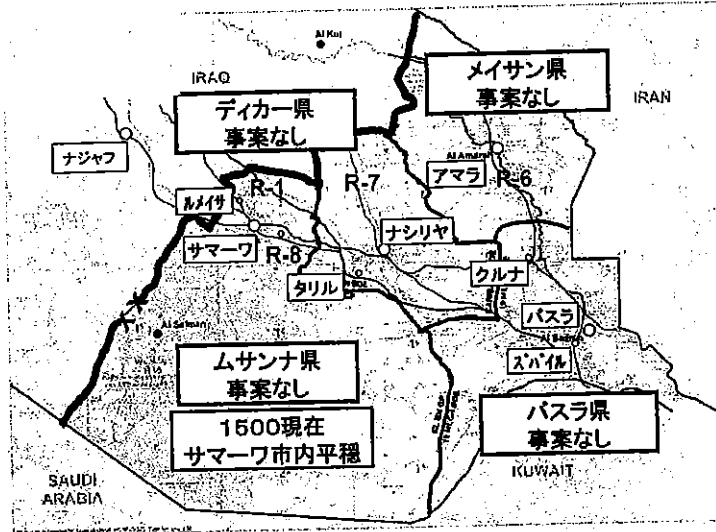
装備品等の可動・不可動の状況①

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
車両	207	204	2	1	HMV×1 ブレーキパイプ亀裂 冷凍冷蔵庫×1 エンジン不良	未使用:WAPC×1(CV) 部品待×2
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	0	1		
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	36	21	38	レギュレータ等不良×17 オイルセンサー不良×4	部品待×21
発動発電機(25kw)	67	44	12	11	ガバナ等不良×10 回転ケーブル不良×1 ノズル不良×1	部品待×12
発動発電機(60kw)	59	47	2	10	燃料噴射ポンプ×2	部品待×2
発動発電機(180kw)	17	15	1	1	ガスケット損傷×1	部品待×1
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	定期整備×1	後送中×1(オランダ)

装備品等の可動・不可動の状況②							
項目		総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
浄水セット	官品	4	3	1	0	制御盤不良×1	部品待×1
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視装置	昼用						
	夜用						
近距離監視装置							
近距離暗視装置(V7)							
微光暗視装置(V3)							
空中監視装置							



事案等の発生状況 (10日0700~11日0700)



サマーワにおけるロケット発射事案(12. 7) - 1

【現地からの第一報①】

- 7日2137、県統合調整所付近における爆発について県統合調整所が通報。
- イラク警察が捜査、予想発射地点をSCIRI(イラク・イスラム革命最高評議会)事務所付近に確認。107mmロケット不発弾を予想発射地点の南西約1.2Kmで発見。
- ロケットはサマーワ消防署の不発弾処理隊が回収し調査。

【不発弾処理隊の調査報告】

- 英軍が8日、107mmロケット不発弾の調査についてイラク消防署を支援。
- 調査の結果、不発弾は107mmロケット×1発であり、信管は付いていなかった。

○所見

- 爆発と不発弾の発見を関連付けることは困難。ロケットは発射されたが、時期は不明。
- イラク消防官によれば、ロケットは高温で、推進薬燃焼の匂いがした(この人物が回収した本人なのか伝聞情報を話したのかは不明)。
- 発見時、信管は付いていなかったことから、爆発させないように発射された可能性がある。
- 推進部は燃えており、弾着地点周辺からは発見できなかった。弾道からロケットは良好な状態ではなかったと考えられる(湿度の浸入による推進薬の機能低下の可能性)。
- 現場の状況及びイラク人関係者の調査からは、ロケットが県統合作戦センター周辺(注 爆発音があった地点)から発射されたと見ることは困難。
- ロケットはいずれかの地点から信管なしで発射されたこと及び弾薬の状態が良好ではなかったため精度が低下していたことは確実。

サマーワにおけるロケット発射事案(12.7)-2

【現地情報②】

- 発射予想地点はハイダリア公園
- 弾着地点はハキーム地区
- 弾種はカチューシャロケット弾であり、信管はついておらず爆発していない。

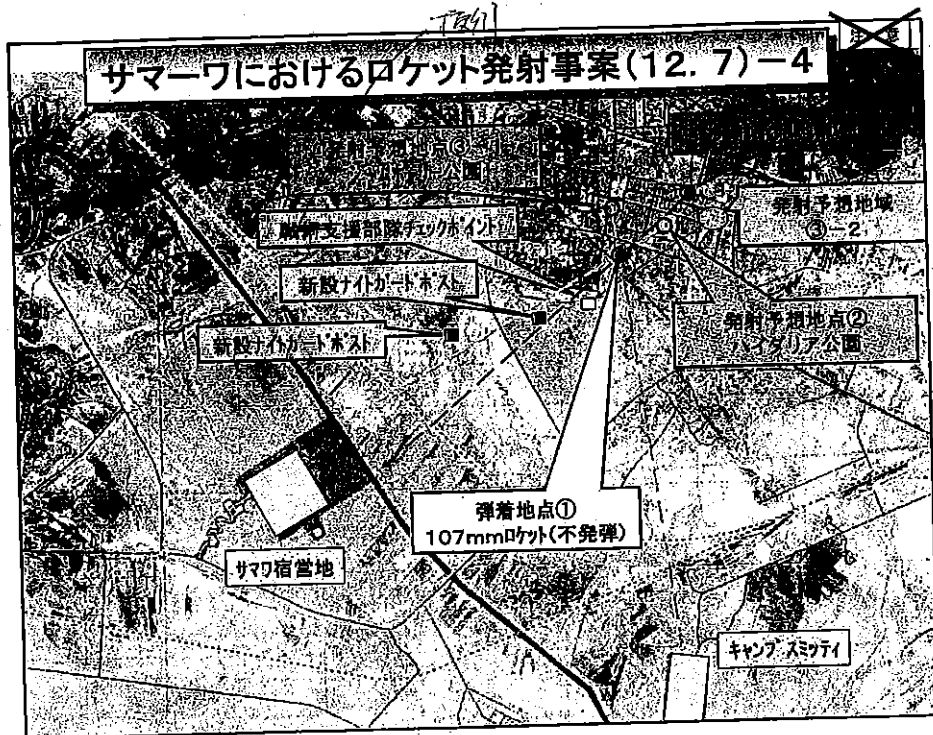
【現時情報③】

- 情報③-1: 発射予想地域はジャムホーリ公園で、弾着地点はハキーム地区
- 情報③-2: 発射予想地域はシュルタ地区で、戦術支援部隊キャラバンを狙ったもの
- サマーワ市内バーター通りのコーヒーショップで5~6名が昨日のロケットは日本隊を狙ったものであるとのうわさ話をしていた。

サマーワにおけるロケット発射事案(12.7)-3

- 2137 爆発音
- 2204 警察・消防不発弾処理隊出動、捜索
- 2220 107mmロケット発見(不発弾)
- 2337 捜索終了





サマーワにおけるロケット発射事案(12.7) - 5

<評価>

- 発射予想地点については複数の情報があり、英豪軍の不発弾処理隊調査結果によれば、ロケットが発射されたのは事実であるが、時期は不明であり、爆発音とロケット不発弾の関連についても疑問があるとしている。
- 現時点では発射予想地点は不明であるが、弾着地点との関係から目標については下記の可能性が考えられる。
 - ① SCIRI事務所付近及びハイダリア公園からサマーワ宿营地を狙って発射
 - ② ジャムホーリ公園からキャンプ・スミッティを狙って発射
 - ③ シュルタ地区から戦術支援部隊キャラバンを狙って発射
- 実行犯については、予想発射地点がいずれも周辺部族コントロール外の地域であるため周辺部族である公算は小さい。また、サドル派民兵のはねっかえり等が恫喝目的のため攻撃した可能性もあるが、現時点では実行犯は不明である。
- サマーワ宿营地に対する曲射攻撃(11月7日)以降、戦術支援部隊チェックポイント×1、ナイトガードポスト×2が設置されているため、実行犯がサマーワ市街外縁部からの発射が困難になり、市内中心部から発射せざるを得なくなったとも考えられる。

金曜礼拝(12. 9)について-1

【アル・グレイブモスク】(サマーワ、サドル派)

○説法者:ギジ師(約500名)

○説法内容

- サーディク・サドル師の人生について
- イマーム・マフディ(第12代イマーム)に師事したアル・クディルは、世界が危機的状況に陥ると、イマーム・マフディと共に現れて我々を善導してくれる。

○その他

礼拝後、サーディク・サドル師の追悼行事関連ピラ及びリスト番号「631」のピラを配布。
(注「631」:英語名称はProgressives。中央の統制に従わないサドル派が擁立したと言われている。)

【アル・マフディモスク】(サマーワ、サドル派)

○説法者:ヘルシー師(約150名)

○説法内容

- サーディク・サドル師について
- サーディク・サドル師追悼行事への参加の呼びかけ
- リスト番号「555」(注 統一イラク同盟)への投票の呼びかけ

金曜礼拝(12. 9)について-2

【アル・メディーナモスク】(ルメイサ、サドル派)

○説法者:アドナン師(約2000名)

○説法内容

- 本日のサーディク・サドル師の追悼夕食会について
- リスト番号「555」にサドル師が加わっている。
- 多国籍軍を支持するリストには投票しないように。

【アル・サマーワモスク】(サマーワ、ハイリ派(サドル派穏健派))

○説法者:アワディ師(約250名)

○説法内容

- サーディク・サドル師の人生について
- サダム時代の情報部によるサーディク・サドル師の殺害について
- イマーム・ジャファク(第6代イマーム)の偉大な歴史について。
- マルジャイーヤ(高位宗教指導者)は、国民議会選挙でリスト番号「555」及び「707」への投票を示唆した。
(注「707」:英語名称はRise and Reform Current。サドル派関連リストとの情報あり)
- アル・ザワラTVでスンニ派の政治家であるアル・ジョボリー氏がモスルで発言した内容を紹介。「もし、私が国民議会選挙で選ばれたならば、全てのバース党員に以前の職務と権限を戻すことを約束する。また、全てのイラン人をイラクから排除する。」

金曜礼拝(12.9)について-3

【マムラハモスク】(サマーワ郊外、サドル派)

○説法者:ホセイン師(約80名)

○説法内容

- サーディク・サドル師はイラクで一番の宗教家であり、サダム政権に立ち向かった立派な宗教家であり、良い人物であった。
- また、イラク南部の人々は皆、彼を好きであり、彼は南部の人と良い関係を作り、多くの時間を費やし人々に自由と民主主義を説いた偉大な宗教指導者であった。
- 我々は金曜礼拝を続けていかなければならない。

【アル・ジャシールモスク】(サマーワ、スンニ派)

○説法者:サミール師(約50名)

○説法内容

- イスラムの教えについて。

* 現在把握している「555」以外にサドル派関連と考えられるリスト*

○リスト番号「652」: Sun of Iraq

・別名SADR List

○リスト番号「631」: Al Risalioun(注「文書の人達」の意味)

・英語名はProgressives。中央の統制に従わないサドル派が擁立したと言われている。

○リスト番号「707」: Rise and Reform Current 代表はハイリ師

(注 現在はイランに所在)

金曜礼拝(12.9)について-4

<評価>

○今次礼拝は、選挙直前の金曜礼拝であり、説法内容については選挙関連、サーディク・サドル師関連の2点を中心であった。

○選挙関連については、マフディモスク、アルメディーナモスク、サマーワモスクでは「統一イラク同盟」への投票を呼びかけており、サドル師の指示に沿ったサドル派としての方向性が各説法者を通じて伝達されているものと考えられる。また、多国籍軍を支持するリストには投票しないようにとの発言は、アラウィ氏らの「イラク国民リスト」等の世俗政党を指したものと考えられる。

○アルグレイブモスクにおいては礼拝後、中央の統制に従わないサドル派が擁立したと言われている政党を推奨するピラを配布しており、サドル師の指示に従わない行動の兆候である可能性もある。ザルガニ師とガラウィの間には反多国籍軍闘争をめぐる意見の対立があり、ザルガニ師が新たなサドル派民兵中隊を組織したとの情報がある。主として同モスクの礼拝に参加している両師が、今次礼拝には意見の対立から参加しなかったとの現地情報もあることから、サドル師の指示に従わないとみられるグループの動向を注視する必要あり。

○ハイリ派のアル・サマーワモスクにおけるスンニ派政治家の発言の紹介は、現在イランに所在するハイリ師を意図して引用したものとも考えられ、シーア・スンニ宗派間対立や反パース党感情をおおる意図がある可能性もあるが、真意は不明である。

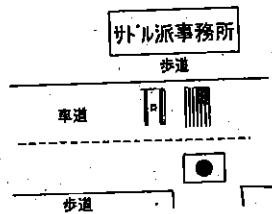
○サドル師の父であるサーディク・サドル師を賞賛する発言が多く見られた。これは同師の命日(注 本年は12月16日とされている。)に近いことに加え、サドル師をサダム・フセインやパース党と戦った偉大な父と重ね合わせることで、選挙戦を有利にしようとしているものと考えられる。追悼行事においても選挙関連発言がなされる可能性がある。

サドル派事務所前の路上に日本国旗描画(12.9)-1

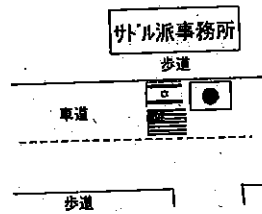
【概要】

- 9日1830頃、サマーワ市内サドル派事務所前の道路上に日・米・イスラエルの国旗が描画されているのを発見。
- サマーワのサドル派事務所前の車道上に車両等が通過するように描画。
- サドル師等による描画指示のピラ等は確認されていない。
- 各国旗は新たに描画されたものであり、以前描かれた日本国旗は消えていた。
- 描画された国旗は2~3週間で消え、約3か月毎に描画している。
- 英・豪の国旗を描画しないのは攻撃の口実を与えないため。

8月11日の状況



12月9日の状況



サドル派事務所前の路上に日本国旗描画(12.9)-2

【過去の国旗路上描画の例】

- 17年5月21日
 - ・サマーワのサドル派事務所前車道上に米国・イスラエルの国旗
 - ・ルメイサのサドル派事務所前歩道上に米国・英国・イスラエルの国旗
(サドル派事務所の方が踏むように呼びかけを実施。)
- 5月26日
 - ・事務所近くの小さな売店近くの車道上に日本国旗
 - ・サドル師による「米国・イスラエルの国旗を描いてその上を通過せよ」という指示のピラが配布されていたことを確認。
- 6月11日
 - ・サマーワのサドル派事務所前車道上に米国、イスラエルの国旗
- 8月11日
 - ・サマーワのサドル派事務所前車道上に日本国旗

【評価】

- サドル派は、事務所前路上に描画した国旗が消えるたびに描画しているとの情報があるが、今回は特にサーディクサドル師追悼行事パレード準備として新たに描画したものと考えられる。
- アラブとしての反イスラエルのほかサドル派の反多国籍軍姿勢のアピールのため、日・米国旗は描画しても同派に対する直接的な反応が小さいと考え、これら3か国の国旗を描画した可能性がある。

サマーワにおけるサーディク・サドル師追悼行事-1

【サーディク・サドル師追悼行事】

- 10日、サドル派がサマーワ市内サドル派事務所周辺においてサーディク・サドル師（サドル師の父）追悼行事を開始。
- 群集は約1000人。
- イラク警察が状況を監視。1700頃、解散。

【概要】

- サマーワにおける同行事は3年連続。
- 群集は1000人以上。男性は黒い衣装を着用。
- イラク警察によるとVIPの出席はなし。
- 最近のサドル派の活動や集会は、サーディク・サドル師追悼行事関連と考えられる。
- サドル師の名による散発的な攻撃の可能性は依然存続し、多国籍軍パトロールは引き続きこの種の群集には注意が必要。
- 依然として多国籍軍パトロールに対する小火器射撃及び多国籍軍基地に対する曲射攻撃の可能性がある。
- パレード
 - ジャムホーリモスクからサドル派事務所まで約1000名、38個グループ（子供×8個、女性×1個、黒服男性×29個）がサーディク・サドル師と殺された二人の息子の柩を先頭にパレードを実施。
 - 武装した者も少なかった。
 - サドル派事務所前の道路上に描かれた日、米、イスラエルの国旗の上を行進。

サマーワにおけるサーディク・サドル師追悼行事-2

- ガラウィ師がスピーチを実施。
 - 来賓に対する謝辞
 - 死後、サーディク・サドル師の悪評を流す者がいたが、そうでないことを本日証明した。
 - サーディク・サドル師の教え及びサドル師に従わなければならない。
- 「ユダヤ人が国を盗み占領した。我々の悲しみは増して行く。」等の内容の詩が朗読された。
- 「ムクタダ」、「アラウィ反対」、「占領軍反対」のシュプレヒコール
- 行事の警備に当たっていたサドル派関係者は、AK47と電気管棒で武装。

【県知事及び県評議会議長が同行事へ参加したとの情報】

- 同行事においてサドル派が日本国旗を踏んで行進した件について、両名の対応は以下のとおり
- 県知事は遺憾の意を表し、再発防止に努める旨表明。
- 県評議会議長は行事への参加を否定。遺憾の意を表し、再発防止に努める旨表明。

【評価】

- サーディク・サドル師追悼行事を盛大に行なうことにより、サドル派の力を誇示するとともに、サドル師をサダム・フセインやパース党と戦った偉大な父と重ね合わせることで、選挙戦を有利にしようという意図があったとも考えられる。ガラウィ師のスピーチにおけるサドル師に従うようにとの呼び掛け、反イスラエルの詩の朗読、アラウィ反対・占領軍反対等のシュプレヒコールの内容は、追悼とは直接関係のない内容であり、選挙を意図したものである可能性がある。
- 路上に描画された日・米・イスラエル国旗を踏んでパレードを行なったことから、サドル派がこれら3か国を一体とみて敵視しているものと考えられ、はねっかえりがこれらを攻撃せよとの命令と受け止める可能性もある。また、公開された公式行事におけるサドル派の行動に対し、県・治安当局は傍観状態であり、サドル派のかかる行動を当局が黙認したととらえる可能性がある。

イラク全土の全般情勢評価 (12.11)		
(11月28日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に中北・西部において多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 	8/26追加 8/8追加
スンニ派過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安機関・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサー・スンナとザルカウイGpが共闘の可能性 ●ザルカウイ関連Gpの活動が活発化 ●シーア・スンニ宗派間対立を企図したテロ発生の可能性 	9/16追加 9/1追加
FRE	●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●サドル師がSCIRI代表ハキーム師と対談する等、選挙に向けた動きを活発化させている可能性 ●選挙に向け、暴力による反多国籍軍闘争を抑えるため、組織に対する統制を強化する可能性 	11/28追加 11/28追加
特異事項	●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引)	9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価 (12.11)		
(11月28日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定→アマラ、バスラで多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃発生 ●メイサン県に存在すると考えられていた即製爆弾攻撃ネットワークがバスラ県に活動を拡大した可能性 ●バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 	8/17追加 9/27追加 9/20追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●バスラ・メイサン県で即製爆弾増加傾向 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 ●選挙に向け、暴力による反多国籍軍闘争を抑えるため、組織に対する統制を強化する可能性 	8/28追加 11/28追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> ●即製爆弾・車両爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出しカージャックがMSRタンパ、ASRサークル上で発生 ●移動中のコンボイに対する車両爆弾の可能性 	7/23追加 7/22追加
タリルAB	●空港への曲射撃及び離発着航空機に対する攻撃に警戒	9/30追加
トレンド	南東部における電波指令式即製爆弾が増加	

ムサンナ県の全般情勢評価 (12.11)

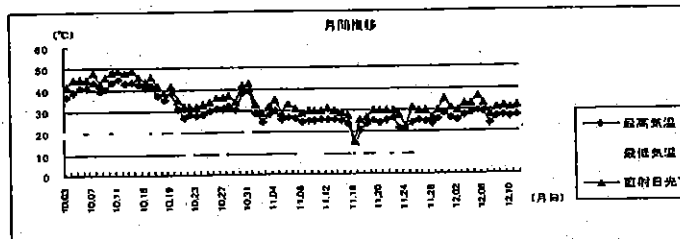
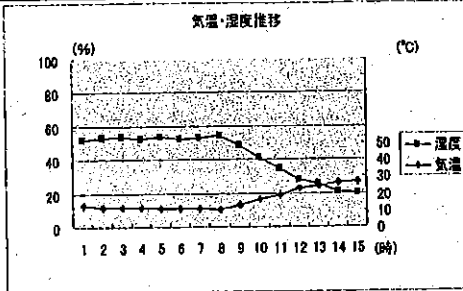
(12月6日の報告以降変化なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的稳定、しかしながら油断は出来ず ●知事、前評議会議長の動向等、政治情勢は依然流動的 ●ISFの治安維持能力が向上しつつある。 	9/30修正 10/9追加
スンニ過激派 国際テロリスト	●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル師の統制に従わない一部のねっかえりが選挙に向け、暴力的活動を活発化させる可能性 ●サドル派民兵のねっかえりが宿営地に対する曲射攻撃などの反多国籍軍行動をとる可能性 ●サマーワ市街において屋間に英軍巡察に対する小火器射撃が発生 ●ルメイサ市において陸自部隊に対する抗議行動が発生 	12/1追加 11/8追加 11/22追加 12/6追加
部族関連	●宿営地警備等の雇用の増大を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	7/7追加
デモ関連	●ムサンナ県の政治情勢は依然流動的であること、雇用問題燃料不足等により民衆の不満が高まる可能性があることから、デモ発生の可能性は依然存続。	11/1修正

現地の気象情報

報告内容

日の出 : 0647
 日の入 : 1657
 月 齢 : 9.7
 月出沒 : (出 11日1351~没12日0326)
 天 候 : 晴れ
 気 温 : 最高27.2℃最低10.8℃
 : 最高32℃(直射日光下)
 湿 度 : 43.1%
 風 速 : NW 3~5m/s



12月12日(月)の活動予定

コード	行動名	時程	活動内容等	車両		
J1	幹長の行動	0630	幹事長報告			
		0650				
		0730	群朝礼			
		0740				
		0740	宿営地内勤務			
		1300				
		1300	次週活動見直し(印指)			
		1340				
		1435	活動命令(派)印決			
		1445				
J2	業務支援隊長の行動	0715	群朝礼			
		0730				
		0730	群朝礼			
		0740				
		0740	宿営地内勤務			
		1000				
		1000	現地メディア記者会見			
		1100				
		1100	宿営地内勤務			
		1300	次週活動見直し(印指)			
J201	ORF	1340	宿営地内勤務			
		1435				
		1535	デイリーミーティング			
		1605				
		1605	隊デイリーミーティング			
		1635				
		J202	ORF(予備)			

12月12日(月)の活動予定

コード	行動名	時程	活動内容等	車両
S6☆	役務要員配置	0530~ 1130~ 1630~	宿営地~庫内警成位置~宿営	
S11☆	警衛		警衛	
S12☆	浄水活動(運河)	0730~1000	大量排水システム点検・運転	LAV(HS)×1
S13a	宿営地内工事、作業	0800~1200	宿営地放水	
S13b		0800~1530	ゴミ回収	
S13c		0800~1530	豚糞込み取り	
S13d		0900~1530	冷凍冷蔵コンテナメンテナ ンス	
S13e		0900~1530	環境維持作業	
S13f		0745~1530	物資センター開設	
S13g	0745~1530	出島地区再配置 (キキラ/シ/移設) (重工作業) (遺構作業)	中型(E)×1 中型(HS)×1 クレーン(E)×1 ドレーク(E)×1	
S13h	0745~1530	警衛所耐震化工事	中型(E)×1 追跡車(E)×1 大型(E)×1 クレーン(E)×1	

12月12日(月)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S15	群主力の行動	0730 0740	群朝礼	
		0740 1530	宿営地内活動	
S16	空中監視活動	12日 0730 ～ 13日 0730	空中監視活動	
Sx (演Jx)	AMTG2との共同訓練 (エスコート・セキュリティ・ トロール遠征訓練)	0800～1800	射撃指揮所～宿営地内外周 道沿い	IAV(O)×6 HMV(O)×2 ASLAV×3

12月12日(月)の活動予定

クウェート分遣班	バックダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> 射撃予習 CV宿泊者施設準備 未活用コンテナ移送準備 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 定例情報収集 定例会議への出席 空路補送調整 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 各種業務調整 ミーティング等参加 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集

ラフマPHC完成点検



ラフマPHCの完成状況



完成点検を行う隊員

AMTG 2との共同訓練 (MEDEVAC訓練)



英兵に先導され患者(演)をHelに搬入する隊員



英軍MEDICから衛生器材の取扱い教育を受ける隊員

17. 12. 11
イラク復興支援群

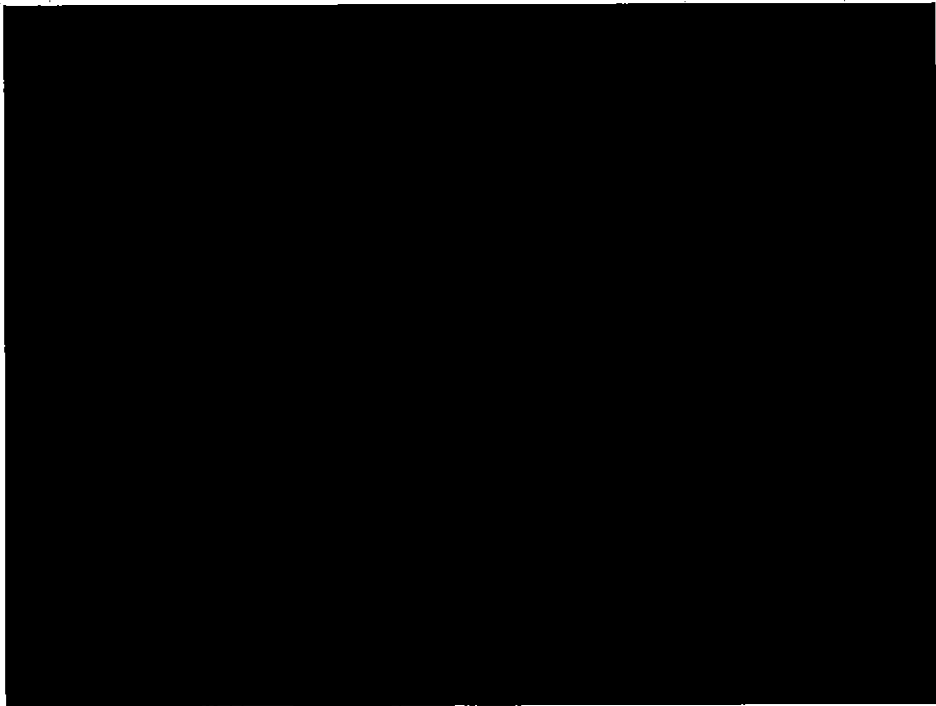
[Redacted]

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
 - 警備態勢: [Redacted]
 - 群長指導事項
- 一本日のJ任務は、市内での活動(県知事庁舎及び県評議会庁舎)がある。しっかりと情報入手し、状況により柔軟な経路変更等を実施できる態勢を保持せよ。

[Redacted]

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
 - 警備態勢: [Redacted]
 - 群長指導事項
- (国政選挙期間のナショナル・ホリデーに伴う処置) 明日から17日までの間、宿営地外活動を自粛する。その間、18日からの活動に当たり、必要な情報、特に市内の状況やルメイサ含み、継続的に収集せよ。
- (同上) 隊員の心情把握を的確に実施せよ。
- (同上) 本日から15日までの間、[Redacted]からとする。徹底せよ。

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッド及びモスルは [REDACTED]、ラマディは [REDACTED]
2 待記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	情報収集及び情報資料の送付等
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	なし





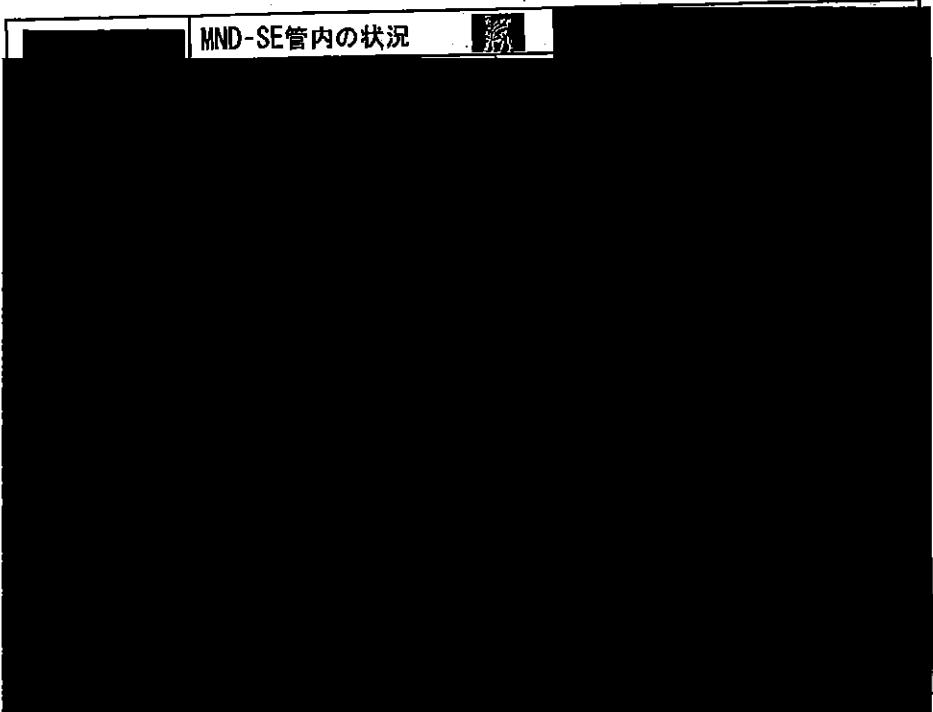
バグダッド 日誌 (12月11日)

- イラク軍育成への道険し?
 今朝、食堂の出口で米海兵隊員と出くわした。厳つい感じの軍曹だった。歩きながら話をした。
 彼：(目の前にある建物を指差し、) 私はその建物で働いている。
 私：イラク軍のHQなのか?
 彼：そうだ。
 私：どんな職務を担当しているんだ?
 彼：イラク軍に対する訓練アドバイザーの一人だ。
 私：イラク軍の成長が著しいのは君のおかげだね。
 彼：イラク軍の成長が著しい? そんなことはない、とても大変だ、苦労している。
 私：えっ、何で? 報告では成長著しいと聞いているよ?
 彼：イラク軍人は軍隊というものが解っていない。まるっきりなっちゃいない。
 だからオレはいつも彼らに対し「Be Army」を連発している。
 私：それって本当?
 彼：もー大変だよ。日本もイラク軍の訓練を手伝わないか、そうすれば我々の苦労がわかるよ。
 (振り返りもせず、すたすたとイラク軍HQに向かう彼)
 私：・・・? 精強イラク軍育成の道は険しい……ようだ。
- 日本人LO全米デビュー?
 ・多国籍軍司令部のあるバグダッドの1階のロビーに大きなクリスマスツリーが飾られた。今朝、そのツリーの装飾のライトの点灯式が行われた。多国籍・多宗教の軍人達が集まって、盛大に行われた。テレビ局のカメラまであった。
 ・日系人の米軍中佐が、「一緒に写真撮ろうよ」と誘いに来た。ツリーの前で写真を撮っていると、コアリッション事務所長以下いつものLO達も一緒に撮ろうとバチリ。日本生まれの米空軍大尉と一緒に写真を撮っていた時、テレビカメラが私たちを撮っていた。同時に、スターズアンドストライプ紙の記者らしき人もカメラを向けていた。
 ・O氏は、広報のスタッフから依頼され、カメラの前で「メリークリスマス・アメリカ」と全米に向けメッセージを述べた。カットされるのを覚悟で「日本の皆さんおはようございます。」と頼まれてもいない言葉追加するあたりはさすがである。
 ・選挙を控え大変な毎日の中でも、アメリカ人にとってクリスマスは大切な行事であることを改めて認識した。我々2人の日本人の映像が、テレビや新聞に出るのかどうかは不明だが、自分たちで勝手に全米デビューと思いに喜んでる。

バスラLO日々業務報告(12月11日1900)


区分	内容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) : [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [REDACTED] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	

MND-SE管内の状況



バスラ日誌 (12月11日)

1 今日の夜は、師団長 [redacted] の送別会とポルトガルの大尉の昇任祝いに参加することになっている。
ダットン少将は、12月20日に離任である。 [redacted] とは、我々がバスラに到着した時からの付き合いであり、非常に感慨深いものがある。
ポルトガルの大尉は、本来は2年前の6月に少佐になるはずであったが、予算がないということで昇任が押え置きになっていたものである。彼の前任者も同じことを言っていた。しかし、彼は、これで満足していると言う。師団司令部における現在の彼のポストは大尉ポストであり、もし少佐になっていたらここに来ることはなかったからである。また、給料は2年前に遡って差額が支給される。([redacted])

 スミッティLO日々業務報告(12月11日)	
区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし。Threat Level
2 特記事項	特になし。
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内及びビルメイサ市内等の治安情報の収集 (2) 各種業務調整等 POLAD会向調整、今月の豪軍パトロールに関して (3) 各種ミーティング等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の英・豪軍等の射撃 なし。

クウェート分遣班業務報告 17.12.11	
全 般	
<input type="checkbox"/> 国内情勢等 : <input type="checkbox"/> 人員・武器等異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告: 所属人員24名、事故人員0名、現在員24名	<input type="checkbox"/> 天候: 晴れ <input type="checkbox"/> 気温: 7時: 17.2℃ 11時: 32.1℃ (直射日光下の最高気温: 32.1℃)
本日の行動	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 射撃予習 <input type="checkbox"/> 車両日整備 <input type="checkbox"/> 分遣班記念品調整	
明日の予定	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 射撃予習 <input type="checkbox"/> CV習習者施設準備 <input type="checkbox"/> 未活用コンテナ後送準備	
その他(教訓・要望事項等)	
<input type="checkbox"/> 大使館天皇誕生日レセプション(班長、LO参加)	

クウェートLO日々業務報告(12月11日1900)

区分	内 容	
警戒態勢等	警戒レベル [] 国内にテロ情報無し。重要施設、ホテルへの個別警戒強化指示 (1) 国家公安部、石油関連施設、大使館等重要防護施設防護部署及び国境警備隊等部署：警戒強化中 (2) 日本国外務省選航安全情報（危険情報）：クウェート全土「十分注意」 []	
特記事項		
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	(1) 連絡調整等 細部別送 (2) 情報収集 細部別送	(1) 連絡調整等 細部別送 (2) 情報収集 特記事項無し 細部別送
明日の予定	(1) 連絡調整等 (2) 情報収集 新聞等	(1) 連絡調整等 (2) 情報収集
その他		